

製品名: IRF3 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87473**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:47 kDa; Observed MW:55 kDa

抗原情報

遺伝子名	IRF3
別名	IIAE7
遺伝子ID	3661
SwissProt ID	Q14653
免疫原	ヒトIRF3の合成ペプチド

背景

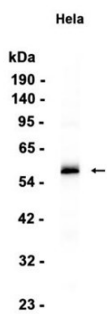
この遺伝子は、インターフェロン制御転写因子（IRF）ファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は不

活性な細胞質型で存在し、セリン/スレオニンリン酸化を受けて CREBBP と複合体を形成します。この複合体は核に移行し、インターフェロン α および β 、ならびに他のインターフェロン誘導性遺伝子の転写を活性化します。この遺伝子には、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが観察されています。[RefSeq 提供、2011 年 11 月]

研究分野

-

画像データ



IRF3 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。